NIEしもつけ ワークシート ㉔

高校生向け

年　組

鹿沼市長選

「選挙割」の活用大幅増

投票済証6千枚、2.9倍

実行委「認知度高まる」

【鹿沼】市民組織「かぬま選挙割実行委員会」（浜野昌平代表）は21日までに、5月24日投開票で行われた市長選（投票率55・59％）の選挙割キャンペーンの結果をまとめた。現職と新人が激しい選挙戦を展開、投票率は4年前の市長選と比較して1・55ポイント上回り、「投票済証」の発行枚数は6031枚で約2・9倍、利用件数は2427件で約6・6倍と大幅に増えた。（枝村敏夫）

同キャンペーンは投票率アップなどを目的に2015年9月の市議選から市民有志が取り組んでいる。投票の際、担当者に請求するともらえる投票済証を協賛店（今回10店舗）で掲示すると割引などの特典などが得られる。市議選以降、国政、地方全ての選挙で実施している。

第9弾となった市長選の投票済証の発行は6031枚（期日前2606枚、当日3425枚）で発行率は13・45％。前回は2054枚発行で約2・9倍の伸び。昨年7月の参院選の4156枚、同9月の市議選3633枚に比べ大幅に増えた。

利用件数は今回2427件で利用率は40％。前回の市長選は利用が365件で利用率18％。

過去、利用件数が一番多かったのは昨年の市議選1333件（利用率37％）だった。協賛した地元スーパーの利用が倍増、全体を押し上げたほか、飲食関係の協賛店の利用が多かった。

浜野代表（78）は「新型コロナウイルス禍の中で投票率の低下が懸念されたが、前回より1・55ポイント上回り、一定の役割は果たせたと思う。継続的な取り組みで市民に浸透、認知度も高まった。選挙に関心を持つ一つのきっかけ、地活性化に少しでもつながれば」と総括。今後は市内全域での協賛店の拡大を目指す。11月の知事選も選挙割を実施する考えだ。

（2020年６月22日付・下野新聞22面）

設　問

【1】選挙割キャンペーンの内容を本文から抜き出して答えてください。

【2】鹿沼市長選に関する以下の記述で正しい組み合わせはどれですか。

A　本年度の鹿沼市長選の投票済証の発行は、期日前より当日のほうが多かった

B　本年度の鹿沼市長選の投票済証発行数は、前回の選挙に比べて３倍以上の伸びだった

C　鹿沼市長選における選挙割の利用率は、今回が前回の市長選の２倍を超えた

D　今回の鹿沼市長選を含めた選挙割の利用率は、昨年の市議選が最も高かった

①A・C　②A・D　③B・C　④B・D

【3】2016年に改正され、選挙権の年齢が20歳から18歳に引き下げられることが定められた法律は何ですか。

【4】選挙権に加えて、民法が改正されて今後、成年年齢も18歳に引き下げられます。何年から開始されるか、下から選んでください。

①2021年　②2022年　③2023年　④2024年

【5】【4】で成年年齢が18歳に引き下げられた場合でも、認められないものはどれか。下から選んでください。

①親の同意なく携帯電話の契約をする

②親の同意なくクレジットカードをつくる

③10年有効のパスポートを取得する

④飲酒・喫煙をする

【6】選挙割の活用が増加することによって、どのような利点と課題があると思いますか。「関心」「地域活性化」「民意」「責任」の語を用いてあなたの意見を100字以内で述べてください。

出題・監修は県高校教育研究会社会部会・中田良直鹿沼東高教諭